滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和6年度第3回滋賀県がん診療連携協議会 緩和ケア推進部会	
開催日時	令和7年3月6日(木)17時30分~18時30分	
開催場所	Web開催(Zoomミーティング)	
出 席 者	(※敬称略)	
	滋賀県立総合病院	花木 宏治
	滋賀医科大学医学部附属病院	醍醐 弥太郎
	滋賀医科大学医学部附属病院	西川 誠人
	大津赤十字病院	山本 茂子
	滋賀県立総合病院	辻森 弘容
	滋賀県立総合病院	冨永 千鶴
	公立甲賀病院	岡垣 哲弥
	公立甲賀病院	中田雅子
	彦根市立病院	秋宗 美紀
	市立長浜病院	本康 実津子
	高島市民病院	髙橋 有和
	高島市民病院	天野 明美
	市立大津市民病院	津田真
	市立大津市民病院	杉江 礼子
	淡海医療センター	堀 泰祐
	済生会滋賀県病院	権哲
	近江八幡総合医療センター	赤松 尚明
	ヴォーリズ記念病院	奥野 貴史
	ヴォーリズ記念病院	谷川 弘子
	滋賀県歯科医師会	小林 加枝
	滋賀県看護協会	今江 照美
	滋賀県歯科衛生士会	溝井 敬子
	滋賀県がん患者団体連絡協議会	
	滋賀県健康しが推進課	田村 奈那子
	【事務局】	11 Nm - +-++
	滋賀県立総合病院	北澤 寿基
欠 席 者	(※敬称略)	 ω +ε
	大津赤十字病院	石戸谷 哲
	彦根市立病院	黒丸 尊治
	市立長浜病院	田久保康隆
	市立長浜病院	宮崎 恵子
	長浜赤十字病院 東浜江松今原療力シスク	丹後 泰久
	東近江総合医療センター 岩本整形外科	坂野・祐司
		岩本 貴志 堀出 直樹
	滋賀県医師会 滋賀県薬剤師会	
		金澤 重幸 八木 政廣
	滋賀県かん思有団体建裕協議会 滋賀県立総合病院	ハ
議事概要	【審議・報告事項】	
	1. 令和6年度緩和ケア部会事業の実施報告	
	<第6回緩和ケア研修会 会場:滋賀医科大学医学部附属病院>	
	11月2日(土)開催。参加者38名(医師35名、歯科医師1名、看護師1名、社会福祉士	
	1名)。次回に向けての改善点について滋賀医大の部会員から説明。	

< 第7回緩和ケア研修会 会場: 彦根市立病院>

11月10日(日)開催。参加者11名(医師7名、医師以外4名)。他院の医師の参加もあり。医師以外の内訳として、看護師3名、歯科衛生士1名。職種に応じたロールプレイを実施。

<第8回緩和ケア研修会 会場:市立長浜病院>

11月17日(日)開催。参加者18名(医師13名、薬剤師2名、看護師2名、作業療法士1名)。

< 第9回緩和ケア研修会 会場:済生会滋賀県病院>

11月23日(土)開催。参加者12名(医師10名、看護師2名)。医師10名のうち5名は開業医。地域連携のほうから開業医にもビラを配っている。開業医が来やすいように祝日に開催した。

- ●開業医の年齢層はどうか。また、病院とつながりのある医師が多いのか。
 - →年配の開業医が多かった。以前病院に勤めていた先生や、結びつきがあって受講した 先生もいた。

<ELNEC-J研修会>

11/30と12/7に県内6病院で開催した。看護師を対象とした研修。エンド・オブ・ライフ・ケアとは、病気や老いなどにより人が人生を終える時期に必要とされるケアのこと。当研修会は、エンド・オブ・ライフ・ケアを提供する看護師のための包括的な教育プログラムの日本版。Zoomで接続し、講義を共有。グループワークなどはそれぞれの病院で行い、フィードバックもZoomで共有。

各日8:45~17:15まで、2日間にわたってみっちりと研修を行った。訪問看護ステーションからの参加者もあり。

<がん診療連携協議会におけるPDCAチェックリスト等について> 引続き緩和ケアの推進に向け、研修受講率の向上を推進していく。

2. 令和7年度部会事業について

緩和ケア推進部会は3回実施、1回目は現地での開催予定。2回目および3回目はスケジュールを合わせやすいようにWebでの開催予定今年度当初の部会員さんへのアンケート結果からこのような形にさせていただいた。

世界ホスピス緩和ケアデー記念県民公開講座について、当事業の企画は持ち回り制。令和7年度の企画病院は公立甲賀病院。詳細は来年度の部会で随時報告。

ELNEC-J研修会は講師やファシリテーターの数が多いことから、あらかじめ日を決めたほうがスケジュール調整もスムーズになるため、今年の11/29と12/6の土曜日の2日間で開催を予定。

緩和ケアチーム研修会は今年度、各病院からの課題を持ち寄っての実施となった。来年 度の内容はこれから検討していく予定。

- ●公立甲賀病院の中で担当者は決まっているか。
 - →おおむね決まっている。企画等はこれから。

3. 情報共有について

< 「緩和ケア研修会開催状況」共有データについて> 緩和ケア研修会の実施状況をオンライン上で共有している。来年度も共有できるよう 引続きデータの更新をお願いしたい。

<「滋賀県PCU情報共有」共有データについて>

新項目あり。

「主科主治医持ち上がり制」:制度としてはあったが、高齢化などもあり、今後は積極 的に利用していくこともありうるため、新たに項目を追加した。

「平均在宅退院率(過去1年間)」、「平均稼働率(過去1年間)」:病院間で気になる項 目と思い、新たに項目を追加した。

経営に関することもあるため、必須ではないが、共有できればと思う。

<緩和ケアクリニカルパスについて>

滋賀県立総合病院のHP検索キーワード「パス」。患者希望チェック、書き込み可能な 「追加型 v e r 1. 1」。守山野洲医師会や草津栗東医師会作成の「在宅療養手帳」に アドオン依頼。

パスの作成に関して、ワーキンググループを立ち上げている。

- <難治性がん疼痛に対する地域連携の整備について> 緩和ケアでは神経ブロックについて整備していきたいと考えている。
 - 9月に開催された日本緩和医療学会の関西支部学術大会でワークショップを行い、各 地域でどういった取組を行っているか情報共有を行った。その中で、京都府の事例を聞 き、そのことについて情報共有したいと思う。
- ●京都府を見本に滋賀県版も作れればと思う。少し気になるのは、症例が緩和ケアの先生 にきているのか、それとも主治医の先生にきているのか、各病院によって緩和ケアの先 生に紹介があるかないか、そういうことも加味して検討していければいいと思う。
 - →緩和ケアを経て神経ブロックに達するのか、それとも主治医から直接麻酔科医に依 頼があるのか、そういうのは各病院の判断に任せることになるかと思う。
- <がん疼痛コントロールポケットマニュアルについて> 滋賀県立総合病院のHP検索キーワード「マニュアル」。
- 4. 滋賀県がん患者団体連絡協議会からの連絡事項

神経ブロックやクリニカルパスを進められており、安心した。3月10日(月)患者会の 勉強会を開催予定しており、部会長にも参加してもらう予定。 また、ぴあサポーター養成講座の12期生9名、明日が閉講式。

以上

そ の 他 | <部会員について>

1年間の部会で出欠席の連絡のない部会員については、意見を頂ける場として設けて いることもあるので、代替わりすることとしたいがいかがか。

- ●拠点病院からの部会員を推薦するのは各病院になるため、拠点病院部会員の交代を申 し出るときは、事前に本人の事情や意向も確認する等、慎重にしたほうがいいと思う。 また、各職能団体など様々な団体からの部会員もおり、病院と異なり、必ずしも代理が 立てられない場合がある。多様な団体の部会員により緩和ケア連携を維持し、広げるこ とは今後もよいことだと思う。
 - →部会員にも通知をしたうえで判断することにしたいと思っている。組織であれば代 理の者がいるが、開業医や個人として参加されている方々は代わりがいないため、そ のポストを別の方に譲っていただく、ということを提案した。

以上のとおり報告します。

令和 7年 3月 6日